

CLEAN project

～リサイクルで海を守ろう～

GREEN project

1. 企画概要

広島県内にはどのような漂流物やゴミがあるかを調査し、雑誌にまとめた。またペットボトルやシーグラス等を使ってワークショップを開き、実際に体験してもらいながら環境保全についての現状について大学周辺の地域の人々に伝える。

2. 活動内容

2-1 調査

- ・8月に大野浦、宮島、かるが浜、水尻の4つの海岸で調査を行い、ゴミや漂流物の実態を調査した。
- ・ワークショップで利用する空き瓶やペットボトル、貝殻などを回収した。



写真1 大野浦の海岸の様子

2-2 雑誌の作成

- ・海岸調査をもとに漂流物の種類や特徴をまとめ、生き物にどのような影響を与えているかなどを伝えることを目的とした。
- ・ワークショップの参加者に配るため、小学生向けの分かりやすい内容で、全体のレイアウトを工夫した。



写真2 作成した雑誌

2-3 ワークショップの内容

第一回:10月1(日)

場所:廿日市環境フェスタ広島工業大学ブース

- ・ペットボトルや海岸のシーグラスを用いたワークショップを開催した。
- ・主に小学生を対象に40人程度が参加した。工作を通じて海岸の実態を伝えると共に海の環境保全の大切さについて理解してもらうことができた。



写真3 第一回ワークショップの様子

第2回:11月28日(日)

場所:広島工業大学

- ・事前に地域の小学校にチラシを配布して参加者を募り当日は小学生以下約50人が参加した。
- ・当日はこれまでの調査結果等をまとめた雑誌(写真2)を参加者に配布し第一回と同様にワークショップを開催した。



写真4 第2回ワークショップの様子

3. 今後の活動予定

- ・2回行ったワークショップの参加者からのアンケートを集計する。
- ・雑誌を一般向けに作成し、より詳しい内容にする。

4. まとめ、反省点

【反省点】

- ・ワークショップにおいて私たちは子供との会話に不慣れで、十分に内容が伝わらないことがあった。そのため予想通りに進めることができなかった。
- ・ワークショップの参加者を募るためにチラシを作成したものの、準備に取り掛かるのが遅くなり、開催日が迫っての配布になってしまった。

【良かった点】

- ・作成した雑誌は子供たちに興味を持ってもらうことができた。
- ・ワークショップを通して海岸を綺麗にするという意識を持ってもらうことができ、企画した私たちもより理解を深めることができた。

【まとめ】

海岸のものを使ってワークショップを開いたことで、海岸の漂流物やゴミの実態を分かりやすく伝えることができたと思う。また、私たちも苦戦しながらも小学生と触れ合うことができたのでとても良い経験になった。今後は雑誌を様々な人に見てもらうために内容をより詳しく発展的にしていきたいと考えている。